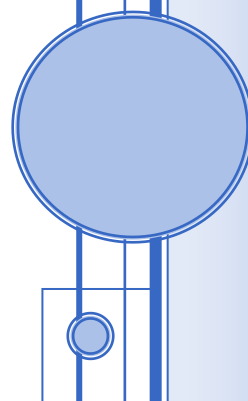


小平市いきいき協働事業  
電力自由化をきっかけに  
市民・家庭が主役のエネルギーシフトをすすめる事業  
報告書

特定非営利活動法人 こだいらソーラー

平成 29 年 3 月 31 日



## いきいき協働事業

### 電力自由化をきっかけに市民・家庭が主役のエネルギーシフトを進める事業報告

#### 目次

1. 事業の目的・目標	1
2. 実施内容	
(1) 電力自由化セミナー「電力自由化 あなたはどんな電気を選びますか？」実施	2
(2) 見学セミナー「見て歩き！市民共同発電所見学セミナー」開催	7
(3) 工作セミナー「ダンボールでソーラークッカーを作ろう」開催	10
(4) 環境カレンダー作成	12
(5) ECOひろば ～電力自由化早わかり～ 開催	13
(6) 報告書作成	16
3. 事業を終えて・今後の展望	17

#### 《添付資料》

市民共同発電所見学会資料／ECOひろばミニ講演会資料

チラシ・ポスター類

報告書／環境カレンダー

## 1. 事業の目的・目標

地球温暖化が進む中、低炭素社会の実現が急がれる。また、エネルギーをめぐる環境は東日本大震災以降国内外で大きく変化し、再生可能エネルギーへの関心が多く、市民に広がっている。

こうした中、平成28（2016）年4月から電力自由化により、消費者が自ら電気を選択できることになった。そこで電力自由化とはどういうことか、市民に環境の視点から情報を発信し、低炭素社会の実現に寄与することを目的とし、事業を実施する。

## 2. 実施内容

### (1) 電力自由化セミナー「電力自由化 あなたはどんな電気を選びますか？」実施

実施日時	2016年5月1日（日曜日） 午後2時～4時半	
実施場所	中央公民館 ホール	
参加者数	89名	
参加費	無料	

◆概要：2016年4月に、電力自由化がスタートしました。一般家庭でも電力会社を選べるようになりました。私たちには、どのような選択の可能性があるのでしょうか。電気代は、安くなる？高くなる？電源は選べる？そもそもどんな表示がされるの？停電したりしない？疑問はいっぱいです。電力自由化の広がる可能性をチャンスにエネルギーシフトを呼びかけているパワーシフトキャンペーンの吉田明子さんに伺いました。

#### ◆実施内容

##### ○講演内容

#### 「パワーシフト！自然エネルギーを重視する電力会社を選ぼう」

- ・ FoE Japan とは
- ・ 電力システム改革とエネルギー政策
- ・ 電力システム改革
- ・ 電力会社えらべるって？
- ・ どう変わる？
- ・ ドイツのキャンペーン
- ・ どのような電力会社が出てくるのか
- ・ 電力自由化に向け加速する動き



- ・ 電源構成については? ・ 各社の電源構成開示状況は?
- ・ 安さなどのアピール
- ・ 2030年「長期エネルギー需給見通し」
- ・ 原発はベースロード電源?
- ・ 石炭火力発電の新規建設
- ・ 新たなエネルギーシステム構築??
- ・ 電気事業低炭素社会協議会
- ・ 「安さ」ばかりもとめられると・・・
- ・ 石炭火力新設に関する環境大臣意見書
- ・ 新電力は「原発フリー」?
- ・ COP21での「パリ協定」を受けて・・・
- ・ 2014年、原発ゼロでも温室効果ガス削減
- ・ 再生可能エネルギーの可能性
- ・ 再生可能エネルギーは地域・市民が主役
- ・ ドイツの電力システム
- ・ 系統運用機関が広域運用
- ・ 「自然エネルギーを重視する電力会社」パワーシフト・キャンペーンが重視する点
- ・ 再エネ供給を目指す電力会社 インタビューを紹介中
- ・ まずは、パワーシフト宣言!
- ・ 課題
- ・ 「少し高くても自然エネルギーを買いたい!」パワーシフト宣言 3600人の声
- ・ 2016年地域団体や企業との連携
- ・ 「パワーシフトな企業」の取り組み
- ・ 今後の活動見通し



## ○NPO 法人こだいらソーラーの活動報告

### 1. こだいらソーラー設立

市民発電事業のしくみ

こだいらソーラー市民発電所

地域の市民発電所は・・・

## 2. こだいらソーラーが取り組むこと

目的は、エネルギーシフト

こだいらソーラーエネシフト普及・啓発活動

## 3. 広がる市民電力

首都圏市民電力マップ

続々誕生する市民電力、発電所

市民電力連絡会を結成

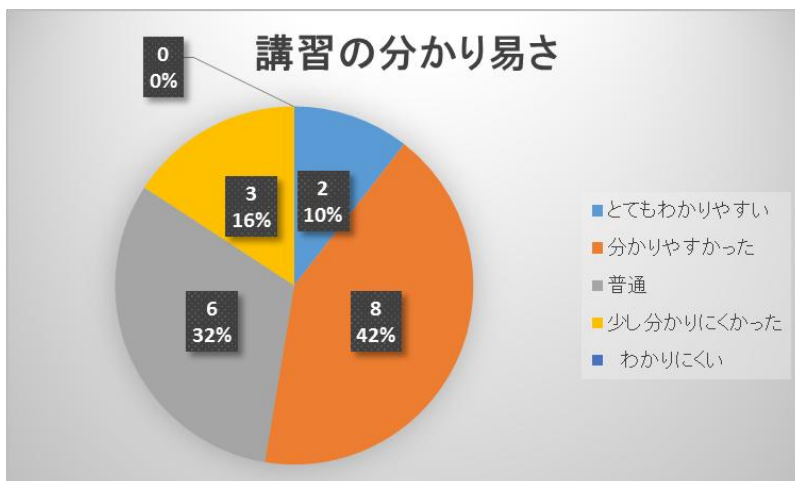
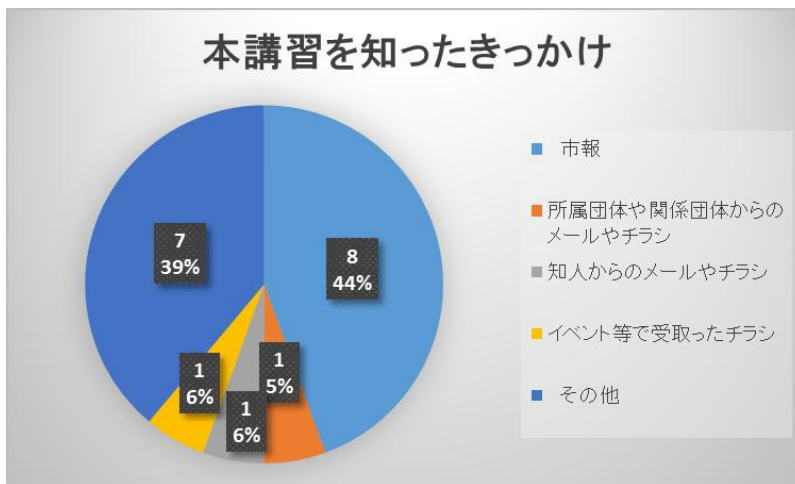
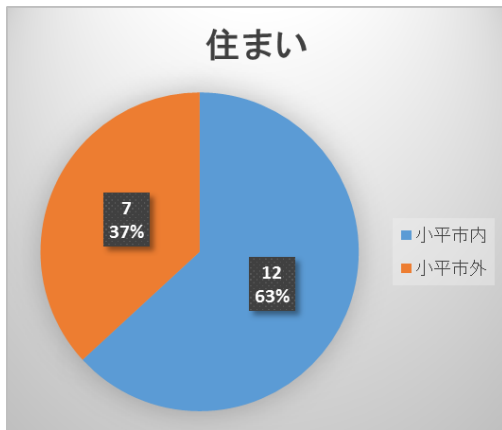
## 4. 再生可能エネルギーで暮らす未来は来る？

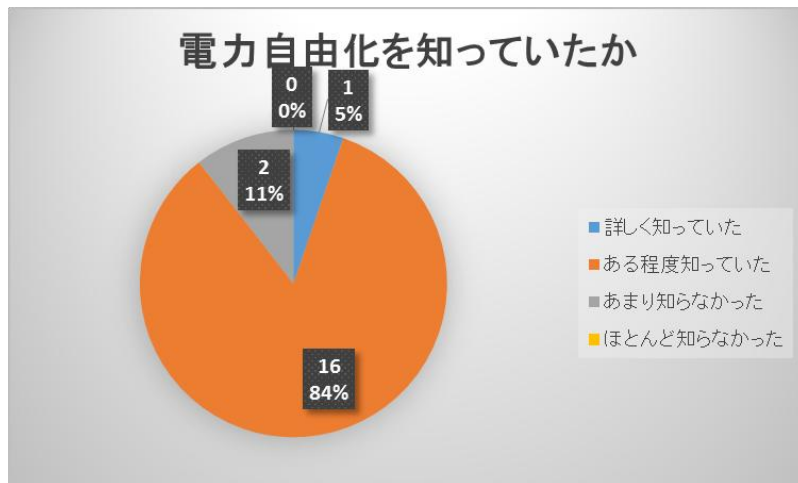
### ◆参加者の声・質問

- ・ある電力小売りの会社に売電の問い合わせをしたが、うんともすんとも言ってこない。
- ・個人の太陽光発電の売電先を変更するには、どうしたらよいのか
- ・現在自宅の屋根に太陽光パネルを持っているので、夜間の電気を購入して昼は充電している。どのような新電力会社と契約すればよいか。10年間の買い取り期間後はどうなるのか。
- ・FoE Japan の存在を初めて知りました。自然エネルギーの電力会社を見つける方法がわからなかったのでパワーシフトで検索して選んでいきたい。吉田さんの話がとてもわかりやすく良かったです。
- ・吉田明子さんのお話が大変分かりやすく、勉強になりました。小平でもこだいらソーラーのような動きがあることがうれしいです。今後の活動に期待します。
- ・長期エネルギー需給見通しの省エネ・再エネ目標の低さにビックリです。
- ・まだ難しい条件があるようです。もう少し様子をみます。
- ・原発に絶対頼らない電気を望みます。ドイツを手本に政府に市民が声を挙げていきたいと思いました。(キャンペーン)←ここは必要ですか？どうしても原発を守りたい政府に対してどうしたらよいか悩んでいます。
- ・再生可能エネルギーの活用、しかしマンションにソーラーシステムを設置するのは現状では難しいのではないかと。東京都全体で検討しなければ進んでいけないのではないかと。
- ・もっと具体的な内容かと思ったが違った。増々のご活躍をお祈りいたします。すばらしい活動です。

◆その他

アンケートの内容(サンプル数 19人)





サンプル数は 19 と少ないが、以下の点が傾向として分かると思います。

- ・小平市外からも参加していた人が多くいたと思われる。
- ・「本講習を知ったきっかけ」のその他には、こだいらソーラーのホームページやフェイスブック、環境家計簿のリンク先、タウン誌他があり、情報源の多様性が見て取れる。
- ・「電力自由化を知っていたか」に対しては、「詳しく知っていた」と「ある程度知っていた」を合わせるとほぼ 9 割に達する。参加者のレベルは、電力自由化について、既にある程度の知識を得ていて、より詳しく知りたいというニーズがあったのではと推測できる。「講習の分かり易さ」がある程度均等に分かれて、「普通」が 1 / 3 であったことからもうかがえると思う。



(2) 見学セミナー「見て歩き！市民共同発電所見学セミナー」開催

開催日時	2016年5月21日(土曜日) 午前10時～午後0時30分	
開催場所	見学：こだいらソーラー市民共同発電所1号機、 2号機、3号機 セミナー：小川工営事務所（1号機設置場所）	
講師	田中 稔さん (NPO 法人太陽光発電所ネットワーク)	
参加人数	19名	
参加費	300円(資料代として)	

◆概要：小平市内に市民が共同でつくった発電所があります。発電した電力はそれぞれの周辺地域の送配電網に流れています。遠くから運んでくるのではなく、地域でつくったエネルギーを地域で使う。エネルギーの地産地消。停電時には非常用電源にもなります。この市民の発電所を見てまわり、太陽光発電や地産地消のエネルギー活用について学習しました。見学後は、電力自由化についてのセミナーで、エネルギーシフトについて学習しました。

◆実施内容

◇見学会

午前10時 JR武蔵野線新小平駅前に集合

参加予定者全員の集合を確認後、

3号機「未来」(小川町)へ向かう。

3号機裏のパワーコンディショナーを見ながら、当日資料でスペック等を説明。

2号機「やまびこ」(津田町)へ移動。



1号機（学園西町）へ移動。

小川工営ビル屋上の1号機パネル見学。

<質問>

- ・屋根にパネルを載せたことで、室内の温度に影響があるか、エアコンの効きがよくなったか。
- ・パワコンは、なぜ3つに分ける必要があったのか。
- ・自立運転の電源は、家の中で使えるようになっていないのか。
- ・非常時には、誰がどのように自立運転をするかが、マニュアルのようなもので決まっているのか。
- ・3号機のこれまでの実績はどうか。
- ・太陽光パネルの裏が熱いが、その暑さの利用は、温室とか何かないのか。
- ・1号機の枠は、置ただけで飛ばされる危険性はないのか。
- ・パネルに鳥の糞や汚れがみられるが、これはメンテナンスしているのか。
- ・パネルの寿命はどのくらいか。
- ・屋根貸の契約は、どのようになっているのか。



◇セミナー「電力会社のかしこい選び方」内容

- ・挨拶（理事長都甲より）
- ・こだいらソーラーの概要説明(西村)
- ・セミナー 講師：NPO 法人太陽光発電所ネットワーク田中 稔さん

(内容)以下の項目について分かりやすく説明があった。

- ・電力小売り全面自由化
- ・送電は今まで通り
- ・よくある質問
- ・詐欺や便乗商法に注意
- ・問い合わせ先



- ・卸売り市場・バックアップ
- ・販売代理店
- ・新電力(小売り電気事業者)の業務
- ・セット割り
- ・「時間帯別料金」の方は、今の方が安い
- ・使用量・電気代が少ないと「お得」額も小さくなる(or 高くなる)方向
- ・こんな表示がされる予定です(電源構成・CO2)。
- ・「環境に良い」と宣伝することができない FIT 再エネ電気
- ・FIT 電気には環境価値は残っていない?
- ・FIT 電気は全電源平均⇒CO2 削減効果はどこに?
- ・再エネ系電力会社を選ぶには

#### ◆その他

- ・参加者は関心の高い人が多く、熱心に見学され、質問も沢山出された。
- ・今回は、熊本地震があったことから、自立運転についての質問が多かった。
- ・今後のこだいらソーラーのイベント(ベランダ発電工作セミナー)にも興味を示していただいて、2名の人から参加を申し込んでもらった。

(3) 工作セミナー「ダンボールでソーラークッカーを作ろう」開催

開催日時	2016年7月21日(木曜日) 午後1時～4時半	 <p>工作セミナー ダンボールでソーラークッカーを作ろう</p> <p>日 時：7月21日(木) 午後1時～4時半 (雨天決行(雨天：12時30分～)) 場 所：小平市民活動支援センター「あすびあ」会議室(小平元浜村あすびあ2階) ※雨天は1階は受付で変更いたします。</p> <p>持ち物：ほさね、バケトホル (500ml 程度、数にします。) 費 用：1,300円(ダンボール、調理器具、湯のアルミ箔(45°と30°の材料別別売)) 定 員：20人(親子での参加可也) 講 師：西川豊子さん(日本ソーラークッキング協会) 主催：小平市民活動支援センター(主催)・あすびあ 申込：7月5日(水)18時迄(月曜まで)受付可也。(電話・電子メール可也、先着順) 問合せ：こだいらソーラー 西村 電話046(4820)0756 E-mail: kodaira.solar@gmail.com 〒186-8501 小平市大字町1-1-1 小平市民活動支援センター(あすびあ)2階</p>
開催場所	小平市民活動支援センターあすびあ会議室	
講師	西川豊子さん (日本ソーラークッキング協会)	
参加人数	20組 28名、見学者1名	
参加費	1,300円(工作材料費代)	

◆概要：ソーラークッカーは電気もガスも使わず、太陽の熱だけでお湯が沸かせたり、調理ができる調理器具です。災害時にも活用できます。いろいろなソーラークッカーを紹介し、簡単にできて、夏休みの工作や自由研究にも役立てることができるソーラークッカーを実際に作成しました。

◆実施内容

- ・DVD 上映 様々なソーラークッカーを、それぞれに合った調理例を見せながら紹介した。
- ・ソーラークッカーの組立

既に切り込みを入れて用意されたダンボールから、講師の西川さんの説明を受けながら、各人がソーラークッカーを組み立てた。

(順序)ダンボールに木工ボンドでアルミ箔を貼る⇒縁取り用のテープを張る⇒片方のダンボールをアルミ箔の芯で丸めて局面の反射板にする。⇒夏用・冬用(45°・30°)のための穴を開ける。⇒穴に紐を通し結んで出来上がり。

- ・NPO 法人こだいらソーラーの概要を説明



<質問>

- ・ 30度と45度の穴は何のためあけるのか。

⇒30度が冬用の45度が夏用の太陽の角度に合わせて合わせるようにします。

- ・ 下の五徳は、なんのために置くのか。

⇒下から反射する熱も集めるために置く。

- ・ ペットボトルを黒く塗るのは、どのようにして塗るのか

⇒スプレー、水性ペンキ、黒いビニールテープでも良い。中の水を飲まないなら、内側で水性ペンキ等を振って塗っても良い。これだと、表側がざらざらしなくて良いかも。



◆その他

- ・ 一般の参加者は、14組22名で親子での参加は、8組あった。

・ 組立作業については、講師の西川さんの話を聞きながら、各人がわいわい楽しく作業をしていた。男性の方の作業が比較的早く終わり、別の親子の組への手伝いなども見られ参加者間の交流も見られた。また、親子の組では、母親が積極的に作業をされていたのが印象的であった。様々な料理の話が出て、身近に感じられたせいかもしれない。

- ・ 生憎、天候が雨模様であったため、屋外での実演はできなかった。

(4) 環境カレンダー作成

省エネ・創エネ活動の啓発のために、2017年度版環境カレンダーを3,000部作成し、配布した。

省エネ・創エネ情報、Web版小平市環境家計簿の説明や、環境家計簿への参加意欲を高めるために光熱使用量の記録用紙を掲載した。

昨年度に引き続き、受け取った人の評価は高い。

- 仕様           A4サイズ中綴じ（見開きA3サイズ）   20ページ   カラー印刷   3,000部
- 配布状況    2017年1月   ECOひろば  
市開催のイベント（環境フォーラム他）  
市の公共機関（環境政策課窓口、市民活動支援センターあすぴあ等）  
市内の店舗（カフェラグラス他）  
小平市の転入者に配布

環境カレンダー表紙



4・5月のページ



(5) E C Oひろば ～電力自由化早わかり～ 開催

開催日時	2017年 1月13日(金曜日)～15日(日曜日) 午前9時～午後5時	<p>平成28年度小平市いよいよ活動事業 <b>ECO ひろば</b>～電力自由化早わかり～ 平成29年1月13日(金)～15日(日) 9:00～17:00 小平市中央公民館ギャラリー</p> <p><b>ソーラークッカー 工作教室</b> 14日(土) ①10:00～12:00 ②13:30～15:30 定員:各回8名 材料費:1,900円 申込期間:1月1日～10日(休着郵) 申込:下記、連絡先にお知らせへ</p> <p><b>電力自由化ミニセミナー &amp;相談コーナー</b> 15日(日)13:00～ 講師:吉田明子さん(FoEJapan) 定員:20名 参加費:無料 申込:20日迄(先着順)</p> <p><b>DVD上映</b> 『気候変動への挑戦』他</p> <p><b>展示</b> 『デンマークでは社会が変わる！』 『初うらなひの省エネ』他パネム展示 ベランダ太陽光発電キット ソーラークッカー ロケットストーブ 防災ソーラーグッズ など</p> <p><b>来場者プレゼント</b> 『家の中の省エネ』暮らしカレンダー</p> <p>主催: NPO法人こけいしソーラー、小平市 協力: 小平市環境・まちづくり推進委員会、 環境活動推進部 NPO太陽光発電所ネットワーク 2016年12月</p> <p>連絡: 問い合わせ先 NPO法人こけいしソーラー(西村) 電話: 090-4820-0756 FAX: 042-462-3926 メール: Andoira.solar@gmail.com</p>
開催場所	中央公民館ギャラリー	
参加人数	247名	

◆概要: 昨年4月より始まった「電力自由化」をテーマに、省エネ・創エネに関する情報の展示やソーラークッカー工作教室及び講師によるミニセミナー、地球温暖化に関するDVDの上映等再生可能エネルギーへのシフトの参考となる情報を提供した。来訪者に2017年度環境カレンダーを配布した。

◆実施内容

●展示

- ・ソーラークッカー
- ・エコハウス (楽しみながらエコな暮らし)
- ・ベランダ太陽光発電パネル
- ・省エネグッズ
- ・LED電球 (工作キットを含む)
- ・小平市の太陽光発電所地図 (地域ごとの集)



計)

- ・太陽光発電よくある質問 (P V - n e t)
- ・小平市環境政策課関連
- ・市民電力連絡会関連
- ・電力自由化関連 (パワーシフト)
- ・ロケットストーブ

●ソーラークッカー工作教室 (1月14日 (土) の午前と午後の2回実地)

参加者：午前6名 午後7名 合計13名

参加者は中高年の女性が多かった。1名、こだいらソーラーイベントのリピーターの方 (男性) もいた。工作自体は、完成までに2時間弱掛ったが、参加者それぞれの特徴を出されて組み立てていた。

工作の過程でも、調理例の紹介や大きさや活用についての話が弾んだ。

今回、工作の指導をしてみて、工作自体はとても簡単でそれ程材料費も高くないので、(小学生の) 環境学習等の題材として面白いのではないかと思った。



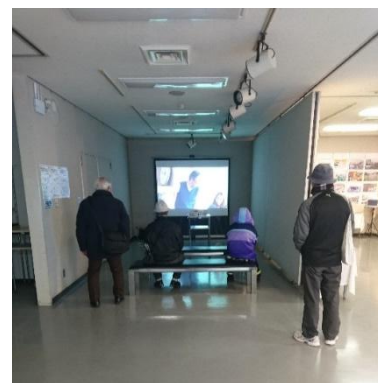
●DVDの上映

- ・上映DVD 「気候変動への挑戦～動き出した世界と日本」、「こだいらソーラー啓発ビデオ」

前者のDVDは、132分の長時間にもかかわらず、最後まで視聴された方がいた。また、DVDの入手先について問い合わせる方もいた。⇒地球温暖化活動推進センターで貸し出ししている旨説明した。

中でも、ロンドンオリンピックや日本の地方都市の試みが印象深いようで、上映後は、納得されていたり、良いDVDだと言われる方が多く見受けられた。

反省すべき点としては、放映時間が長過ぎたため、落ち着いてみようとする人が少なかったように思われる。ダイジェスト版 (14分) の方が良かったかもしれない。





●電力自由化ミニセミナーと相談コーナー

講師 F o e J a p a n 吉田明子さん

・再生可能エネルギーを重視する新電力会社の存在(19会社)やその電源構成の開示率(76社で54.3%)等について、話をしてもらった。また、パワーシフト宣言のアンケートでは49%の人が「今より少々高くてもよい」(2016年3月時点)との結果も出ており、再生可能エネルギーへの意識が高い人がいることが分かった。再生可能エネルギーを重視する新電力会社の中の数社について、その特徴が説明され、電力会社を選択する際の参考となった。



※このセミナーを通じて、「どの新電力会社が経済的に得か」との問い合わせが多いと感じ、「電力自由化」の世間での認識は、経済的関心が高いと実感した。一方、電力会社の選択には、大半が経済的動機から選ぶ傾向が強いのが現実ではあるが、参加者との交流を通じて、再生可能エネルギーへのシフトを志して電力会社を探している人達も少なからずいることが実感できた。

(6) 報告書（リーフレット）作成

電力自由化について学習会等で得た情報をまとめて報告書を作成した。

今後、電力自由化、エネルギーシフトについての啓発活動に活用していく。

- 仕様 A4サイズ（見開きA3サイズ） 4ページ カラー印刷 1,000部
- 配布状況 公民館等の公共施設、セミナー、工作教室、見学会等

### 再生で暮らす未来を拓こう！

消費者、新電力、市民電力の三者連携で～

東日本大震災、原発事故をきっかけに、市民自ら創エネを志す市民電力がた（さん）生まれています。太陽光発電だけでなく、風力、バイオマス、小水力などにも取り組んでいます。市民電力の電気は、純国産の再生可能エネルギーになり、再エネを重視する新電力を選び、市民の皆さんに届けられます。

ごだいらソーラーも小さいといども創エネ事業者、電力自由化をきっかけに売電先を再エネを重視する新電力に切り替えました。消費者、新電力、市民電力の三者連携によって、直接市民の皆さんに、市民が作った電気を使っていたらどう選んでいきます。市民電力と連携する新電力を、選んで、応援してください。

●第1号 小売店

●第2号 中学校

●第3号 小学校

●ごだいらソーラー

●第4号 町会

●第5号 町会

**パワーシフトキャンペーン**

市民団体が結集し、市民に再エネを薦めようと呼びかけ、同時に再エネ小売をめざす事業者をエンパワーしようという「パワーシフトキャンペーン」を展開しています。

<http://power-shift.org/> **サイトで紹介中!**

平成28年度(2016年度)小売市場、価格競争率  
作成・発行 NPO法人ごだいらソーラー  
福島電力 NPO法人太陽光発電ネットワーク

### 電力自由化早わかり

～あなたはどうな電気を選びますか～

#### 電力自由化って？

「電力自由化が、2016年4月スタート。誰でも自由に電気を販売でき、誰でも自由に電力会社を選んで電力供給を受けることができるようになりました。電力市場に新規参入と競争を促し、電気料金の引き下げやサービス多様化に繋げることが目的です。」

#### 今こそ、エネルギーシフト!

電力自由化は、一極集中的、独占的なシステムから、地域分散的、自治的なシステムへの変革を促しています。市民が望む電力を自ら選ぶことは再生可能エネルギーの優待になります。

**電力システム改革とエネルギー政策**

従来	改革後
国家運営	新規参入
地域独占	自由競争
総括原価方式	価格競争

電力システム改革  
再エネ固定価格買い取り制度

#### このままCO2を出し続けると・・・

2100年までに最大で4.8℃、気温が上昇する可能性があります (IPCC第5次評価報告書)。今の子どもたちの一生の間に5℃近く・・・

子ども達の将来を考え、市民の一人ひとりがCO2排出量の少ない電力を選び、低炭素社会の実現に向けて、取り組む必要があります。

(外面)

## 電気を選んで社会を変える！～エコな電気を選ぼう～

電力自由化により、開放される小売市場は8兆円。化石燃料の調達のために海外に流れていくなお、純国産の再生可能エネルギーに切り替えていこうにもなりません。どんなエネルギーを使って、どんな社会をめざすのか、私たちの選択にかかっています。

**全面自由化による市場 8兆円**

**電気を選ぶためにどんな情報が必要ですか**

- どこでつくられた電気か？
- 発電所の種類・地域
- 環境負荷はどのくらい？
- CO2
- 放射性廃棄物
- 電気料金の内訳は？

多様な担い手が参入し、電力会社の選択に迷われると思いますが、私たちは、持続可能な社会をめざして選択をしたいと思います。環境に配慮した新電力を選択するには、環境負荷、電源構成等の情報を得ることが必要です。(電選表示は表紙ではなく、「望ましい」とごまかっています。)

**エコな電気ってどんな電気？**

ズバリ、太陽光発電や風力発電、地熱発電、バイオマス発電など自然エネルギーを有利してつくられる電気(再生可能エネルギー=電気)のことといっしょです。再エネは、発電時にCO2を排出しません。

新電力に切り替えた後、停電が増えたり、電圧が下がったりするのは？

電気の品質や安定性は変わりません。発電所でつくられた電気は送電網に合流し、分かれて家庭やお店やオフィスなどの消費地に送られます。この「送電事業」は、送電事業者が行いますので、「小売供給」を行う電力会社を変更しても、電気の品質が変わったり、停電が増えたりといったことはありません。一方、切り替えた新電力が倒産した場合でも、次の電力会社を選ばずは送電事業者がバックアップします。

「エコな電気」は高い？

現在契約している電力会社より安い場合もあります。コスト比較サービスを提供(無料/有料)しているサイトがあります。

マンションや賃貸住宅も切り替えられる？

電力会社と直接、契約している場合は出来ます。管理組合やオーナーさんが電力会社と一緒に契約している場合は、単独ではできません。一括しての切替となります。

切り替えの費用は？ 手続きは？

費用負担はありません。どの電力会社も同じ電線をしますので電線工事はありません。送電事業者の負担で自動計量&送電機能付の「スマートメーター」に変わります。(メーター変更は義務ではないが、電力会社によっては契約条件としているところもあります。)切り替えは、切り替え先の新電力に申し込みます。元の電力会社へのお断りが必要ありません。契約手続きには、「検針票」に記載されているお客様番号などの情報が必要です。

**「電源構成」(発電種類別販売電力量の割合)の表示例**

送付先「電気」→「電気料金表(料率)」によって電力会社に買い取られた再生可能エネルギー=電気。

(中面)

### 3. 事業を終えて・今後の展望

1年間を通して、市民への啓発の場として、5月の「電力自由化セミナー あなたはどんな電力を選びますか」及び発電所見学会、7月のソーラークッカー工作教室、2017年1月の「ECOひろば」を開催した。

今年も、講演会、見学会、工作体験教室、展示会と市民のみなさんへの様々なアプローチを心がけてみた。結果、参加者は384名となり、市民への啓発若しくは交流がイベントを通じてできた。市民の省エネ・創エネ意識はもちろんの事、減災の視点から参加された方（ソーラークッカー工作教室）もいて、この事業の市民生活への関わり方の重要さを改めて認識した。

2016年4月に始まった電力自由化については、認識度は月日が進むほどに高くなっていったが、新電力会社への変更を実施した方の多くは経済性を重視してのことであり、再生可能エネルギーへのシフトを意識しての方は少ないのが現実である。一方、参加者との交流を通じて、再生可能エネルギーへのシフトを志して電源構成を調べながら電力会社を探している人達も少なからずいることを実感した。こうした方々の大半は、電気代が「今より少々高くても良い」と考えており、経済合理性よりも環境を重視する傾向にあることも分かった。今回の事業では、市民向けの電力自由化を啓発するリーフレットを作成した。今後は、これを活用して市民への働きかけをし、少しでも再生可能エネルギーへのシフトに繋がる電力会社の選び方について情報発信に努めたい。

新電力会社に変更することで、早めにスマートメーターが付くことにより、そのメリット（HEMSと組合せることにより、家庭内の電気の見える化ができ節電に繋がる）にも気が付き、経済合理性から入ったにも拘わらず省エネ貢献に向く市民が出てくる可能性を秘めていると考える。

5月1日の「電力自由化セミナー あなたはどんな電力を選びますか」のアンケートによると、参加者の約90%が既に電力自由化をある程度知った上で、更なる情報を得ようと来場したというニーズがある。ここに来て、地域に根差した新電力会社も立ち上がり始め、そこに電気を供給する太陽光発電者も集まり、電気の地産地消の形作りが始まっている。2016年度のいきいき協働事業は、真に電力自由化元年に今後の再生可能エネルギーの地産地消による普及の可能性を探る意味でも有意義なものとなったと考える。

平成29年度は、いきいき協働事業「災害時にも役立つ、自然エネルギーを活用したエコなライフスタイルの実践啓発事業」を実施する。これまでの経験を活かしながら、「災害時にも役に立つ」を入りに、省エネ・創エネをさらに推進していきたい。